

本市発展の礎を築く

名誉市民 永瀬洋治氏 逝去

本市名誉市民 永瀬洋治氏(80)は、2月11日午前9時25分、肺炎のため、入院先の埼玉県済生会川口総合病院で逝去されました。

永瀬氏は、昭和56年5月に第11代川口市長として就任以来、平成9年5月までの4期16年間にわたり、市政の最高責任者として、市民福祉の向上と本市の発展のために、心血を注がれました。

在任中の16年間は、元号が昭和から平成へと改まり、景気はバブル経済から不況へ、国際情勢では東西ドイツが統一されるなど文字どおり激動の時代でした。こうした激しい時代のうねりの中にあつて、地域経済では地場産業である

铸件製品の需要拡大を図る「ニューディール作戦」をはじめ、新製品開発振興奨励制度や商店街近代化補助制度の創設、不況対策のための緊急融資の実施など、地域経済の活性化と安定に心を砕かれました。また市民生活では、本市の新たな顔づくりとして川口駅周辺再開

発事業を推進するとともに、24時間体制の救命救急センターや周産期センター(新生児集中治療施設)を備えた地域総合医療の拠点「市立医療センター」の開設、地下鉄7号線の県内延伸(現埼玉高速鉄道)の実現など、次代に引き継ぐ都市

基盤の整備に奔走されました。文化・芸術の発展にも情熱を傾けられ、本市の史実をもとに創作された楽劇「るひいな」や「ふゆみそう」の公演には多数の市民が参加し、「川口国際文化交流フェスティバル」は現在も引き継がれ世界各国との交流の輪を広げています。

また、全国市長連絡協議会会長、全国市長会副会長、厚生省医療審議会委員、(財)日本体育協会理事などの要職を歴任され、藍綬褒章、勲三等旭日中綬章を受章されています。

こうした数々の優れた功績を永く讃えるため、平成20年11月10日の「川口の日」に川口市名誉市民に推戴されました。



なお、永瀬氏の市葬は3月22日午後2時から、氏が生みの親である「川口総合文化センター・リア」のメインホールで執り行われます。また当日、弔意記帳所を設けます。
弔意記帳所 時間：10時～17時
場所：リア1階展示ホール



平成23年度 キッズISO14000プログラム

市では、子どもたちへの環境教育の一環として、平成15年度から国際的な環境教育プログラムの「キッズISO14000プログラム」に取り組んでいます。今年度は市内15の小学校で、5年生が家庭内の環境マネジメントに取り組みました。

キッズISO14000プログラムとは

国際環境規格ISO14001をモデルに、日常生活での実体験をとおして環境マネジメントシステムについて学ぶことができる環境教育プログラムです。子どもがリーダーとなり、家庭内の省エネやごみの減量化に取り組みます。

今年度の取り組み状況 入門編：小学5年生1,386人が完了
初級編：小学5年生223人が完了

47人が国際認定

キッズISO14000プログラムへの取り組み結果が、国際芸術技術協力機構、国際連合大学、ISO(国際標準化機構)から優秀と認められ、47人が国際認定されました。この認定は、環境問題に対して解決策を

今年度の国際認定者数 47人

- ・安行東小 1人
- ・戸塚東小 18人
- ・戸塚南小 6人
- ・根岸小 1人
- ・差間小 2人
- ・在家小 1人
- ・慈林小 7人
- ・芝中央小 4人
- ・新郷東小 2人
- ・東本郷小 1人
- ・東領家小 1人
- ・木曽呂小 3人

埼玉県知事賞



白鳥綾乃さん (木曽呂小)

キッズISO14000プログラムの内容	
入門編	家庭内の省エネやごみの減量化に2週間取り組み、環境マネジメントシステムについて学びます。
初級編	入門編終了後、家庭内での環境マネジメントに4週間本格的に取り組みます。
中級編	グループで地域や学校の環境マネジメントに1年間取り組みます。
上級編	違う国の子ども同士が協力しながら、国規模・地球規模の環境マネジメントに取り組みます。

立案・実行できたことが認められたもので、世界的に通用する権威あるものです。将来は世界の環境問題をとおして、人類に貢献する人材になってもらいたいという大きな願いが込められています。また、特別賞として、1人が埼玉県知事賞を受賞しました。



国際認定証

問い合わせ・・・環境総務課 ☎048-228-5376 FAX048-228-5322